

★現代舞踊展始まる

現代舞踊界の第一線で活躍する二十四組が自作を発表する「第四十五回現代舞踊展」(東京新聞主催)が七日、東京都港区のメルパルクホールで始まった。八日まで。

飯塚真穂さんの「Gate」で開幕し、第七十二回全国舞踊コンクール創作舞踊部一位入賞の鈴木泰介さん・贅田麗帆(にえだ・まほ)さんが「天」―写真―を披露し、客席を沸かせた。

八日も芸術性豊かな十二作品が発表される。三年ぶりの出品となる井上恵美子さんは「脱皮―ガウディの赤い花壇―より」を振り付ける。「才能あふれる若き舞踊家たちとの競演が楽しみ」と話していた。午後六時開演で、入場料は四千五百円。

